

## 【事例1】

(調査日：平成28年10月28日)

事例名	子どもたちへの学習支援
地域	根郷地区
実施主体	ねっこの会（会長 小林 眞智子）
活動要約	支援を必要とし孤立しがちな子どもや保護者に対する支援
主な分野	「学習支援」「居場所づくり」
主な関係者	根郷地区民生委員・児童委員協議会

### ■活動のきっかけ・経緯

○児童青少年課、市社協から依頼を受け、学習支援・居場所づくりを通して、地区で見守り・支援が必要な子どもや保護者を支え、子どもの自立を手助けするために発足した。

### ■活動内容

○小・中学生の基礎学習の手伝いをしている。教科書に沿った学習を中心に読書や宿題の手伝い等、一人ひとりに合わせたサポートを行っている。

○対象人数：小学生8名、中学生7名（平成28年10月調査時点）

○保護者との了解事項として、送迎はしないこととしている。小学生は、学童保育等から直接来て、帰りは保護者が迎えに来る。中学生は、自転車等で直接自分で来る。保険は社会福祉協議会のボランティア保険に加入している。

### ■ポイント・工夫している点

○単に学習の支援をするだけでなく、子ども・保護者の「居場所」づくりに繋がることも意識している。

○季節に合わせたイベント（クリスマス会、卒業・入学お祝い会）等を実施し、仲間と協力して、自分の役割を持って頑張ることに繋げてもらっている。

○迎えに来る保護者と顔を合わせてコミュニケーションを取ることを心がけている。保護者も地域でコミュニケーションを取れる人がいることで、生活に自信が持てるようになっていく。学習支援を通じた、対象家庭への支援につながることを目的としている。

### ■課題と今後の展開

○中学生の学習支援に対応できるスタッフが不足している。塾経営者、教員OB等に声をかけて少しずつ協力も得られているが、取り組みに理解のある人を集める難しさがある。

○今後、こども食堂の展開も視野に入れているが、アレルギーの問題等、難しいこともあるが、社会福祉法人愛光、根郷地区社協等の協力を得て、準備委員会を立ち上げている。

